

杏林大学ICIBD 腸管超音波検査 ハンズオンセミナー第2回

【 炎症性腸疾患診療における 腸管超音波検査の普及を目指して 】

近年、炎症性腸疾患（IBD）診療における腸管超音波検査（IUS）の有用性が注目されています。杏林大学医学部附属病院炎症性腸疾患包括医療センター（ICIBD）では、IBD-IUS を積極的に日常診療において実施するとともに、本検査の標準化、普及に努めたいと考えております。IBD-IUS にかかわる基礎的な知識、エビデンスの理解は重要ですが、やはり実際に検査機に触れる、自分で行う、ということが検査技術の習得、検査施行のためには欠かせません。そこで、杏林大学 ICIBD ではハンズオンセミナーを開催させていただくこととしました。是非この機会をご利用いただき、皆様の施設での IBD-IUS 導入、実施にお役立ていただければ幸いです。

令和 6 年 7 月
杏林大学医学部消化器内科学 教授
杏林大学炎症性腸疾患包括医療センター センター長
久松 理一



● 開催日時

2024年 9月21日(土) 13:00～16:00

● 場所

吉祥寺 エクセルホテル東急 オークルーム

● プログラム

第 1 部：講演－IBD-IUS のエビデンスと実践（60 分）

レクチャー 1：IBD-IUS の有用性（講師：三好 潤）

レクチャー 2：IBS-IUS の基本手技（講師：森久保 拓）

第 2 部：ハンズオントレーニング（120 分）

健常ボランティアとシミュレーターの利用

（インストラクター：三好 潤、森久保 拓、小松 悠香、米澤 広美）



三好 潤

森久保 拓

● 定員 15 名

● 申込方法

以下のフォームからお申込みください。

<https://kyorin-icibd.com/member/handson-02/>

（8月25日申込締切）



※ 申込者多数の場合は、ご希望に沿えない場合がありますのでご了承ください。
ご参加を正式に受け付けた方には、8月31日までにお知らせいたします。

